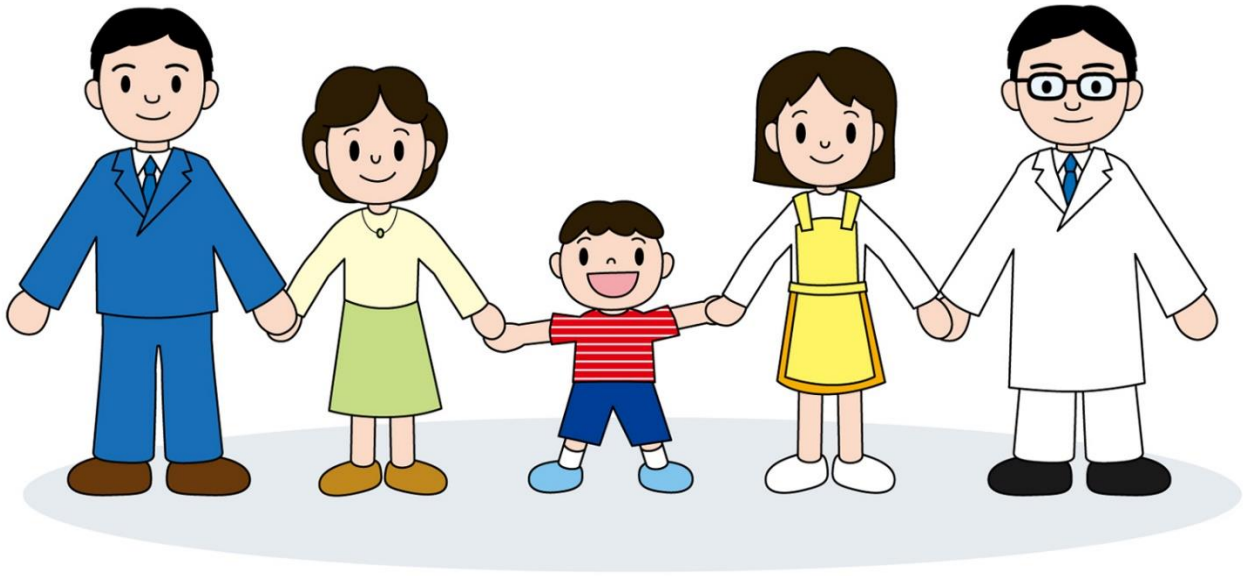


令和3年度

学校保健委員会



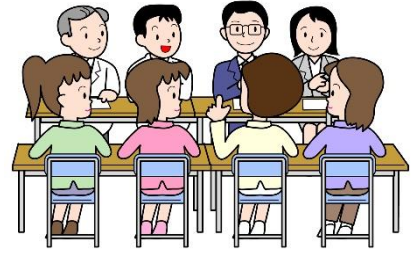
令和4年3月

墨田区立中和小学校

学校保健委員会の目的

近年、児童の健康課題が複雑多様化、深刻化してきている状況にあります。そのような中でも、児童一人一人が生涯を通して、健康な生活を送る事ができる力を身につける必要があります。

学校保健委員会は児童の健康課題を「地域」「家庭」「学校」「関係諸機関」で研究協議し、健康づくりを推進するための組織です。



* 例年の学校保健委員会は近隣の小中学校と連携して開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面での報告とさせていただきます。

【学校医(内科) 唐澤賢祐先生より】

内科校医から、最近注目されていますことを中心に列記させていただきます。

ご参考になりましたら、幸いです。

- 新型コロナウイルス感染症について
現在、第6波がピークアウトし、少し、安堵できる状況になっていますが、乳幼児では感染者が持続している印象があります。お子さんが感染すると家族内の感染が広まるのが危惧されます。しかし、現在のオミクロン株は、若い世代では軽症例が多い傾向が続いています。大人の方は、3回目のワクチン接種で多くの方が予防できますので、副作用の心配がない方は2回目から6か月以上の間隔で早急に接種をお勧めします。現在、12歳から18歳のお子さんは3回目の接種が可能になりました。年長児のお子様はご検討ください。
- 12歳未満のお子さんへの新型コロナウイルスワクチン接種について
過去の流行状況から乳幼児感染者の多くは軽症であり、現在のワクチン効果は長期に持続することが証明されていないことから、重症化が危惧される持病（中等症・重症の気管支喘息、先天性心疾患など）のあるお子さんが接種の優先対象になります。しかし、今後の再流行、乳幼児の重症化するウイルス変異がある場合には、多くのお子さんに接種をお勧めする可能性があります。
- コロナ禍では、従来の学校生活、校外活動ができなくなり、子どもたちにもストレスがかかっていることが推測されます。この状況下でこそ、ご家族の方々は、家族の絆、学校との連携を深めるようにして頂きたいです。
- 子供達のスマートフォン利用について
ネット検索、LINEなどのSNS利用によって、便利な情報取得、連絡手段になっていますが、節度ある利用方法をご家庭で相談して欲しいです。ネット検索の上位が正しい情報とは限らないこと、SNSは楽しいメッセージを発信する手段であることを常に意識してほしいです。

1 定期健康診断の結果

(1) 身体測定の平均値

東京都・全国の数値は令和元年度の学校保健統計報告書より参照

(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校により測定時期が異なるため)

		男子		女子	
		身長 (cm)	体重 (kg)	身長 (cm)	体重 (kg)
1年	中和小	115.3	21.6	△117.6	△22.4
	東京都	117.0	21.6	116.1	21.0
	全国	116.5	21.4	115.6	20.9
2年	中和小	123.6	24.7	122.2	△24.8
	東京都	123.2	24.5	121.8	23.4
	全国	122.6	24.2	121.4	23.5
3年	中和小	△130.0	△28.5	127.8	26.6
	東京都	128.6	27.4	127.6	26.5
	全国	128.1	27.3	127.3	26.5
4年	中和小	133.4	30.6	134.2	△31.2
	東京都	133.9	30.6	133.4	29.8
	全国	133.5	30.7	133.4	30.0
5年	中和小	139.2	34.8	△143.3	△36.8
	東京都	139.8	34.9	140.6	34.3
	全国	139.0	34.4	140.2	34.2
6年	中和小	144.4	39.5	△148.8	△40.9
	東京都	145.6	38.9	146.9	38.7
	全国	145.2	38.7	146.6	39.0

△：東京都と全国の平均より1cm(kg)以上多い



男子：3年生の身長・体重ともに東京都と全国を1cm(kg)以上、上回った。

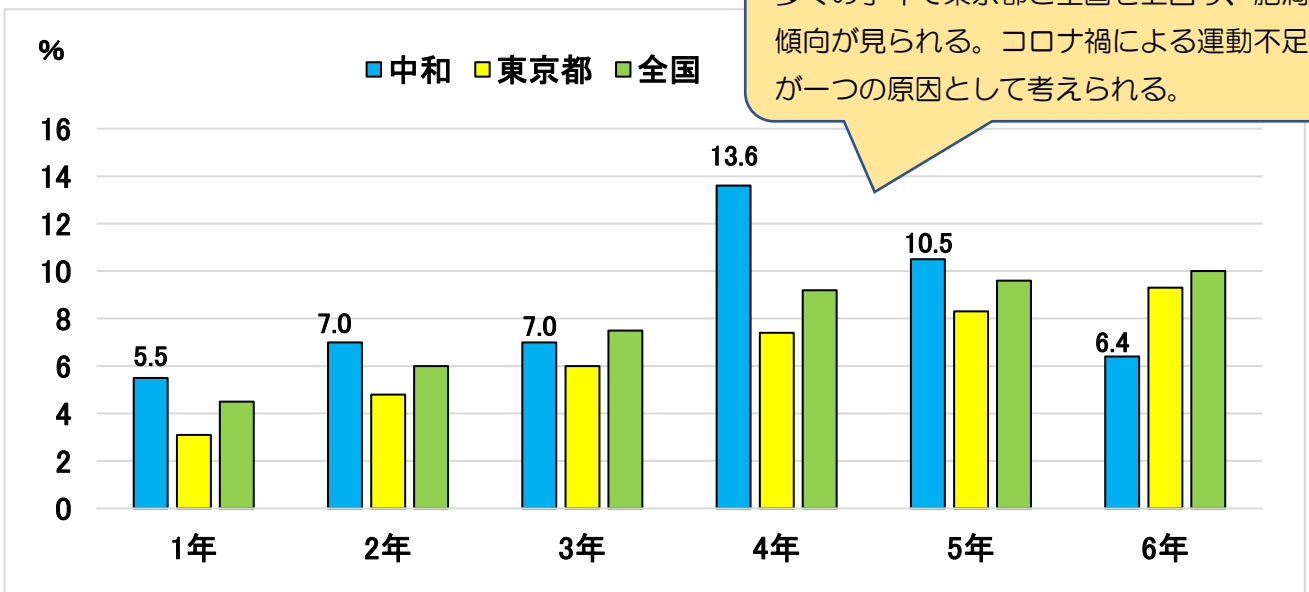
女子：1・5・6年生で身長・体重ともに東京都と全国を1cm(kg)以上、上回った。

(2) 栄養状態（肥満度）

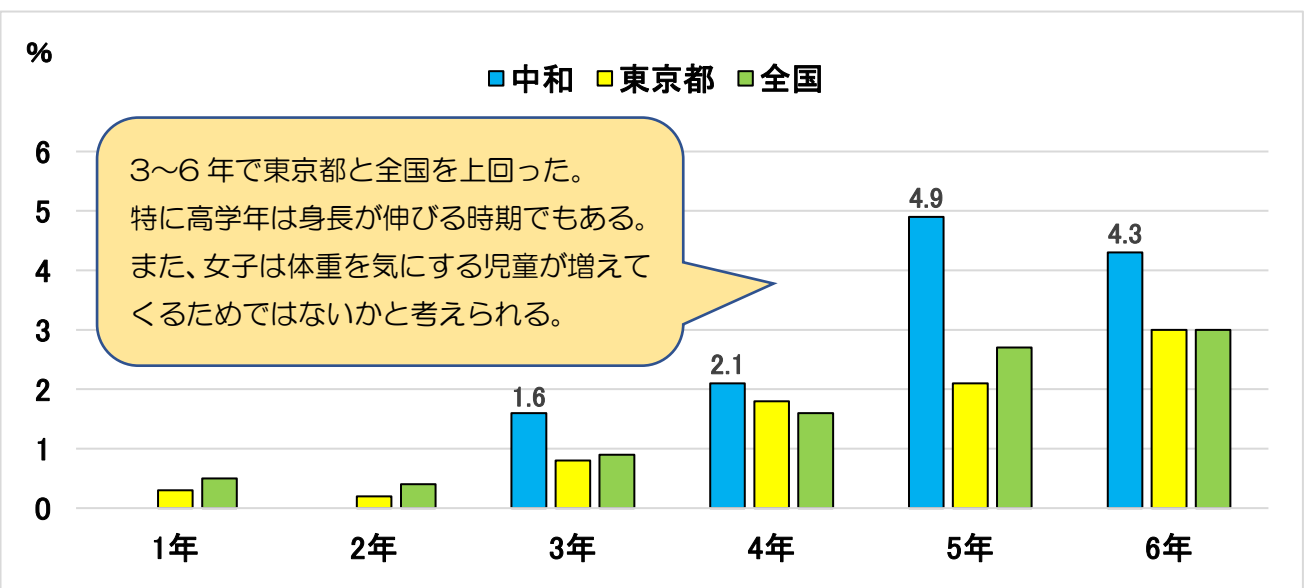
① 学年別人数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
肥満傾向児 (肥満度 20%以上)	3	3	4	6	6	3	25
痩身傾向児 (肥満度-20%以下)	0	0	1	1	3	2	7

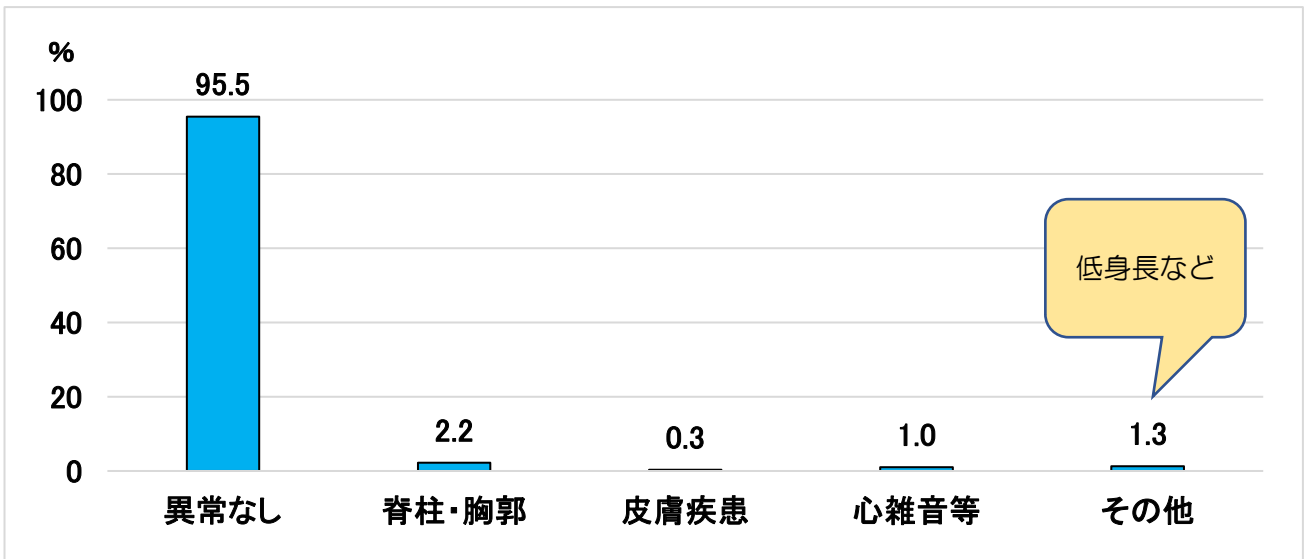
② 肥満傾向児（肥満度 20%以上）の出現率



③ 痩身傾向児（肥満度-20%以下）の出現率

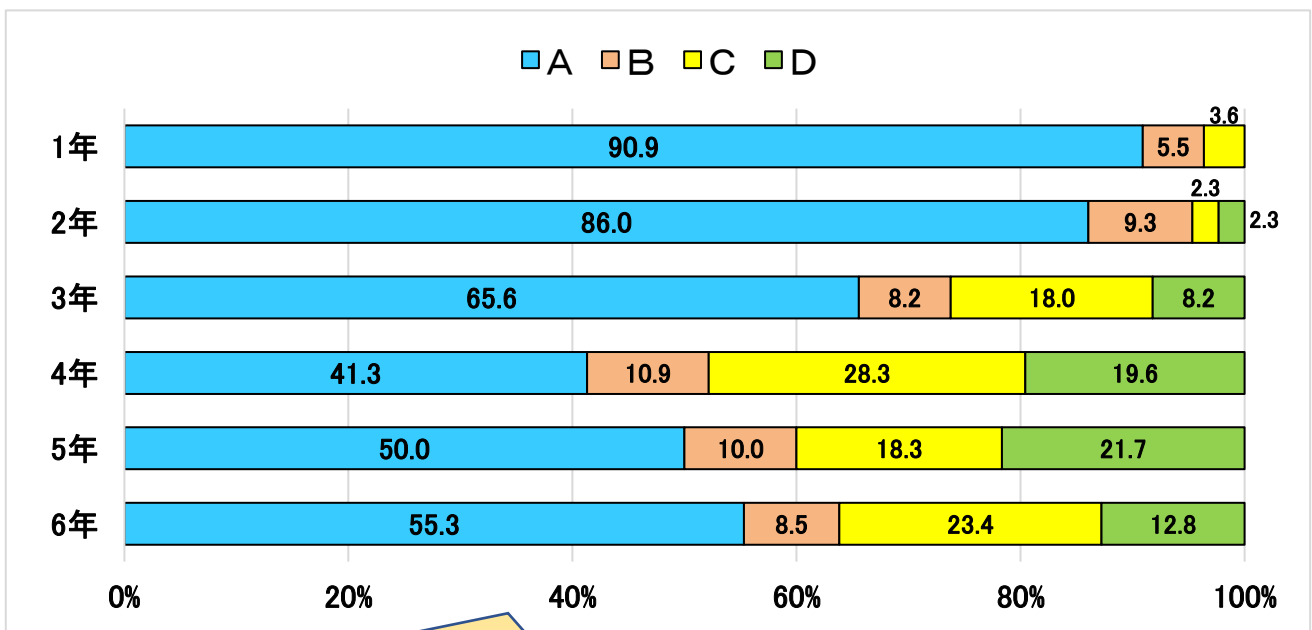


(3) 内科検診



(4) 視力検査

① 裸眼視力

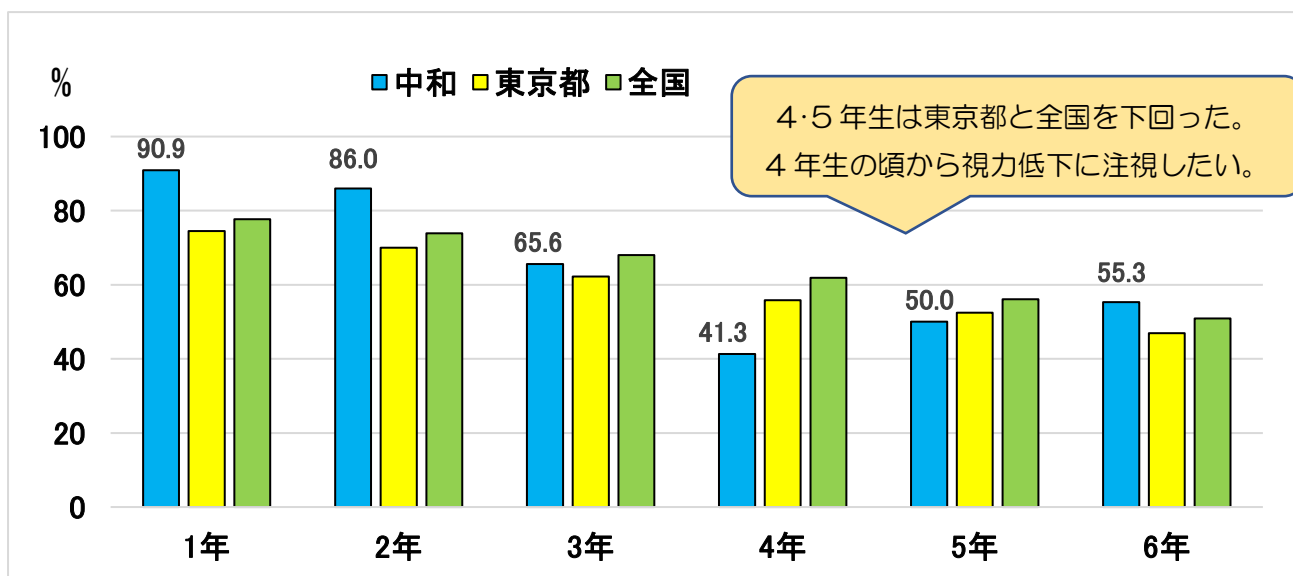


- ・4～6年生は視力A（1.0以上）の割合が低くなってきている。
- ・授業中を見ても、ノートに書く時やタブレット使用時に画面と目の距離が近い児童が多く見られる。早速、具体的な姿勢を示し、学級指導を始めた。今後は保健指導等でも、タブレット使用時の姿勢について指導していく必要があると考える。

【参考】

A	B	C	D
1.0以上	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満

② 視力 1.0 以上



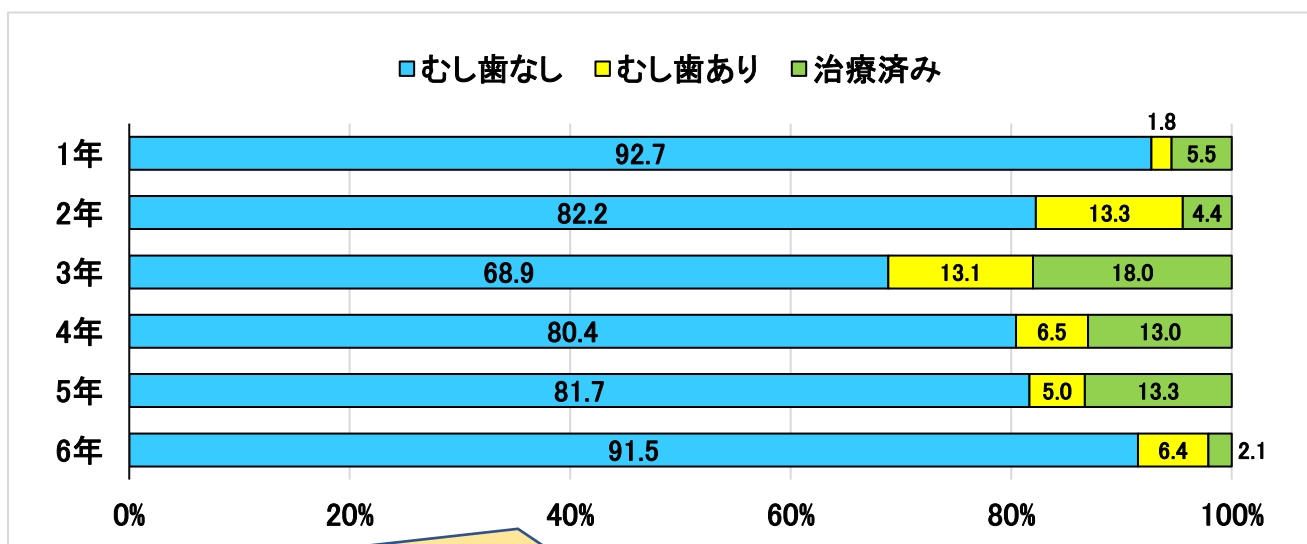
(5) 眼科検診

結膜炎	眼瞼縁炎(がんけんえんえん)	外斜視
2人	2人	1人

(6) 耳鼻科検診：全校児童が「異常なし」であった。

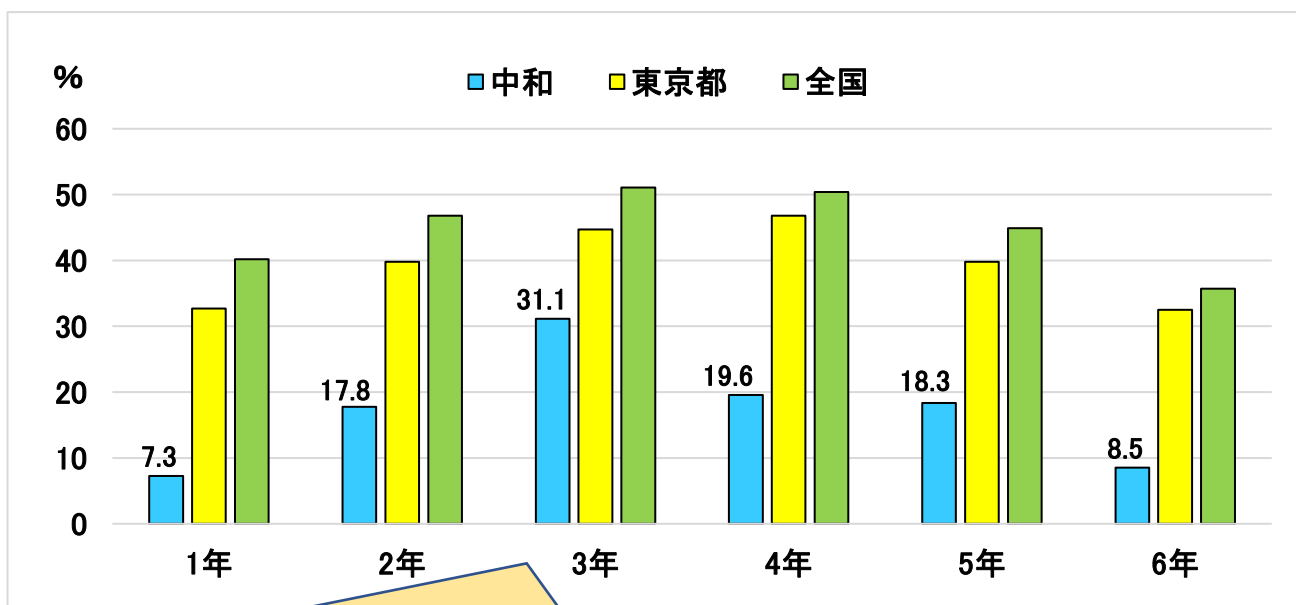
(7) 歯科検診

① むし歯について



2年生から「むし歯あり」が増加傾向にある。2～5年生は前歯から奥歯が順に永久歯へと生え替わる時期であり、自分で歯を磨くようになってくる時期でもある。そのため、磨き残しが多くなるのではないかと考えられる。

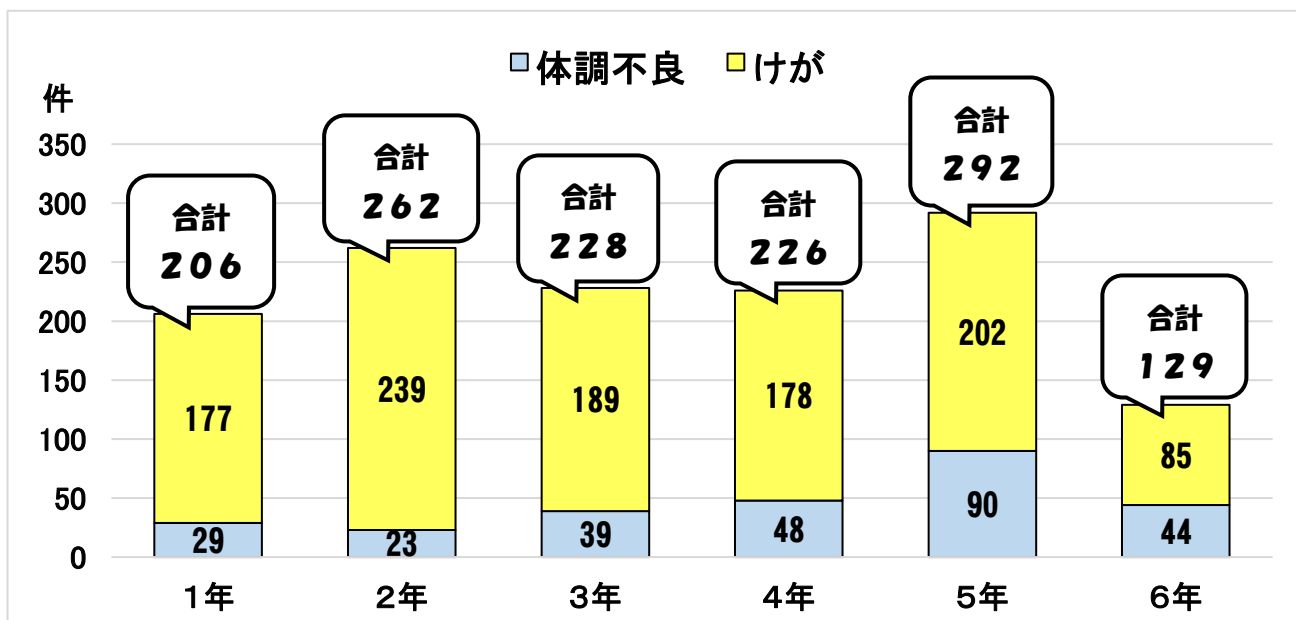
② むし歯被患率



全学年において東京都と全国を下回り、良い傾向にある。子供の口腔内の健康について、家庭の意識が高いことが考えられる。

2 保健室来室状況 (4月1日~2月28日)

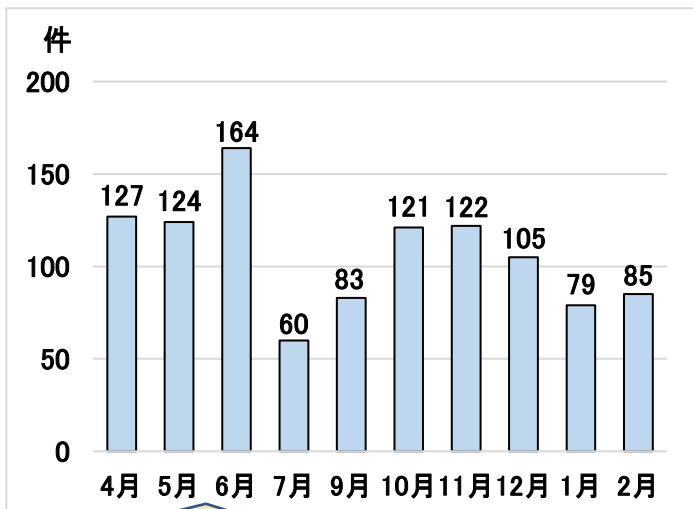
(1) 学年別来室件数



来室する児童はけがや体調不良だけではなく、心理的な悩み等があると思われる児童もいた。話をしたり、休んだりしているうちに症状が改善し、教室に戻ることができる児童もいて、保健室が心の安らぎの場所となっている。

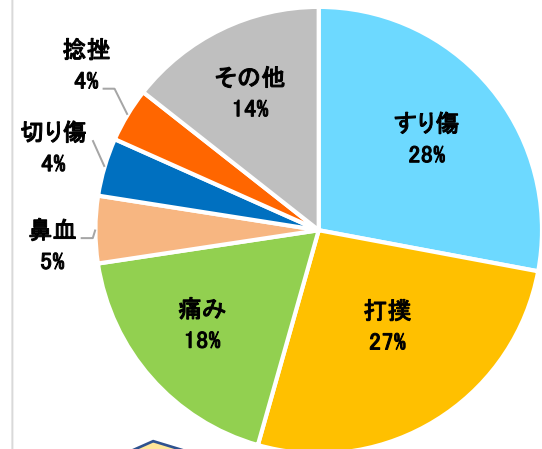
(2) けがについて

① 月ごとの件数



年間を通して、6月が一番多かった。学校生活にも慣れ、不注意やトラブルによるけがが目立った。

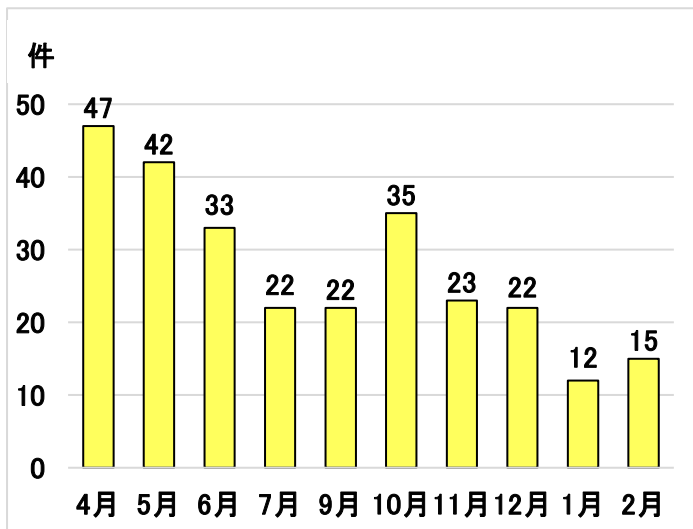
② 多かったけがの種類



校内のけがの内訳第3位「痛み」は、走ったり、ジャンプをしたりした後に急に足が痛くなったなどがあった。「その他」の中には昨日のけがの治療が含まれている。

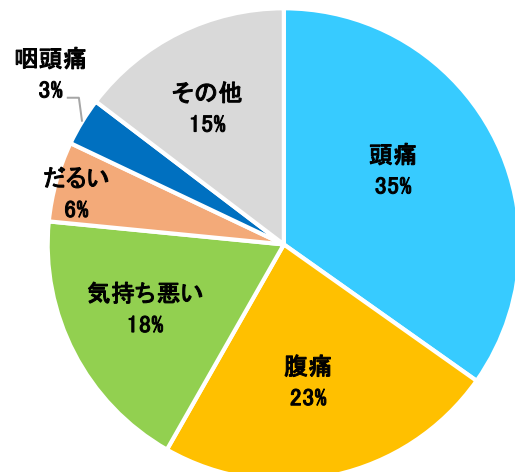
(3) 体調不良について

① 月ごとの件数



4～6月頃は暑い中、マスクをつけた生活で体調を崩す事が多かったが、冬の期間はご家庭の協力により、体調不良による来室は減った。

② 多かった症状



体調不良の原因の一つに睡眠不足が見られる。「その他」はめまいや発疹などがある。

3 校内の感染症状況（4月1日～3月11日）

（1） 新型コロナウイルス感染症

学級閉鎖	5学級／13学級
陽性者	50名
濃厚接触者	28名

（2） その他の感染症

溶連菌感染症	2名
感染性胃腸炎	1名
水痘	1名
流行性耳下腺炎	1名

今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策を行っていることもあり、令和元年度に62件の報告があったインフルエンザは、0件であった。その他の感染症も、罹患者数が大きく減少した。

**これからも
中和小の保健室は
児童の心と身体の健康を
守っていきます**

